

スマイルまなづる 87号

真鶴町立まなづる小学校

令和2年度学校だより

2月16日発行

【文責 校長 浜口勝己】

【学校教育目標】「自分を大切に 仲間や学校を大切に 町を大切に」

～自立をめざし 自分のよさを生かし まちづくりに参加できる子の育成～

緊急事態宣言が3月7日（日）まで延長されました。校内では引き続き感染予防に努めるとともに、各ご家庭におかれましてもご協力をいただいているところです。

2月1日（月）～14日（日）の「家庭学習がんばり週間」でも、各ご家庭でご協力をいただき、ありがとうございました。例年、学期に1回（年間3回）実施していますが、今年度は今回の1回だけの実施となってしまいました。ホームページでも紹介しましたように、どの児童も日頃から家庭学習に取り組んでいます。この期間中は普段にも増して意欲的に取り組んでいる姿が児童のノートからうかがうことができました。友達の素敵な取組を紹介し共有できるように「おすすめコーナー」を設けましたので、これを機にこれまでの自身の取組に取り入れながら、さらに充実した家庭学習ができることを期待しています。

また、例年ならばこの時期「6年生を送る会」に向けて、各学年が出し物の準備・練習を始めているところですが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、全校児童が一斉に体育館に集まるという場をなくしていることから「6年生を送る会」を行うことができません。そこで、5年生が中心となり、6年生への感謝の思いを伝える場として2月15日（月）～19日（金）を「6年生を送るウィーク」として位置付け、様々な企画をしています。様々な制約の中でどのような形で6年生に思いを伝えられるか、5年生を中心に全学年の児童が一生懸命考えました。詳細については、「スマイルまなづる」の次号でお伝えいたします。

登校時の自家用車による送りに関するお願い

安全面や体調面、通学距離等の面から登校時に自家用車をご利用されているご家庭へのお願いです。

先日、学校のご近所にお住まいの方からご相談のお電話をいただきました。その内容は次のとおりです。

場所としては、消防分署から本校体育館に向かって上る道についてです。朝の登校時に自家用車でお子様を送る際、その道を使用される方も多く、時間帯によって車がつながってしまいます。その道は幅が狭いため、対向車に当たるご近所の方の車も通勤等で使用される際に、なかなか前に進むことができず、困っているというご相談でした。

消防分署から体育館の方に右折せずに、学校裏の駐車場に向かって上られる方もいらっしゃいますが、そちらも対向車があるとつまってしまうことがあります。学校の近くでお子様を降ろし、最後のわずかな道のりを歩いて登校しているケースも見られます。その日の状況によるかと思いますが、ご近所の方のご迷惑にならないようご配慮をご検討いただきますようお願いいたします。



安全な学校生活のために

昨年度の学校事故を受けて、今年度も安全に配慮された授業となっているかどうかを確認、場合によっては授業者に指導・助言をするために、管理職（校長・教頭）及び教務、日によっては町教育委員会の学校教育指導員が、体育や理科の実験、図工の工作、家庭科の実習などの授業を観察しています。その様子を一部ご紹介いたします。



1年生活「あきのおもちゃ屋さん」おもちゃ屋で使うどんぐりなどの扱い方や位置関係を事前に確認しました。



2年図工「カッターナイフ」カッターナイフの扱い方について、図示したり実演したりして十分に意識させました。



3年図工「のこぎり」のこぎりの持ち方や刃の向き、力の入れ方について十分に意識させました。



4年体育「キャッチバレーボール」ネットの支柱にウレタンを巻いたり、待機児童の場所を示したりして安全に配慮しました。



5年家庭科「青菜の調理」包丁の扱い方やガスコンロの扱い方について、図示したり、細かな助言をしたりするなどの配慮をしました。



6年理科「水溶液と金属」実験器具の扱い方、理科室の机上の整理整頓などを十分に意識させた上で実験を行いました。

下校に関するお願い

下校時に児童が事故・事件に巻き込まれてしまう可能性は0ではありません。万が一のために、通常の下校ルートと異なる場合は、学校にご連絡をいただくよう、以前からお願いしているところです。

例えば、スクールバスに乗らない場合、キッズに行かない場合、直接習い事に行かなければならない場合などです。

通常の下校ルートと異なる場合は、連絡帳または毎朝ご提出いただく健康観察票に、その旨ご連絡いただきますよう改めてお願いいたします。

図書に関するお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、現在、みんなが使用する場所や物に対するの約束を確認しています。その中で、図書室の利用方法が少し変わりました。委員会の児童による本の貸し出しを中止したり、読んだ本を入れる返却ボックスを用意したりしています。このような読書環境になっているので、子供たちには家から本を持ってくることを推奨しています。ご家庭に学校で読める本（文字が中心となってる本や学習につながる本など）がありましたら、持たせてください。

よろしく願いいたします。